HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION

令和2年度

事業募集のご案内

《新進アーティスト育成事業「音楽の宅配便」／こどもアート体験事業》

公益財団法人北海道文化財団

募　集　概　要

◆　募集する事業

- 新進アーティスト育成事業「音楽の宅配便」
- こどもアート体験事業

◆　申込から採択までの流れ

1　『事業計画書』の提出

- 財団ホームページ（http://haf.jp/）より『事業計画書』をダウンロードのうえ、提出期限までに郵送してください。
  ※メールやFAXによる受付は行っておりません。

2　提出期限及び提出先

《提出期限》令和２年５月15日（金）　必着
《提　出　先》公益財団法人北海道文化財団
〒060-0042　札幌市中央区大通西５丁目11 大五ビル3F

3　採択の通知

- 令和２年５月下旬頃に、書面にて通知します。

◆　留意事項

- 提出された事業計画書及び添付資料は返却しませんので、予めご了承ください。
- 事業計画書はコピーをお手元に保管するようにしてください。

◆　お問い合わせ先

公益財団法人北海道文化財団
〒060-0042　札幌市中央区大通西５丁目11　大五ビル3F
TEL 011-272-0501　FAX 011-272-0400
WEB：http://haf.jp/

新進アーティスト育成事業「音楽の宅配便」

当財団が推薦するアーティスト（ＨＡＦアーティスト）を道内各地域に派遣し、公演等を行う機会を提供します。

対象団体

- 地域文化団体
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 文化施設の管理・運営団体
- 学校（小学校、中学校、高等学校）等

※　地域文化団体は、道民の文化芸術活動の促進に努めている団体等であり、原則として、次の要件を満たしている団体が対象となります。

地域において過去３年以上継続的な活動を行っている団体
団体の規約等を有し組織体制の確立している団体
地域の文化芸術活動をリードしていくことが期待される団体

※　実行委員会等、新たに設立した団体の場合は、母体となる構成団体が上記の要件全てを満たしている必要があります。

経費の負担

- 財団の負担：アーティストへの謝金、旅費等に係る費用
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費等

公演の入場料

- 公演に係る入場料は実施団体に帰属します。入場料の設定は実施団体と協議の上、決定します。

派遣アーティスト

北海道民謡　魂を聴く

北海道民謡

江差追分全国大会優勝者、木村香澄と寺島絵里佳が北海道の三味線、尺八奏者と共に北海道民謡の魅力を皆様にお届けいたします。

民謡の種類や曲の説明、江差追分の基本譜を使用しての唄い方レッスン等を交えながら進めますのでわかりやすく、民謡への理解が高まる時間になると考えております。

公演内容

江差追分、江差三下り、ソーラン節、道南口説、道南ナット節など

木村　香澄
江差追分全国大会優勝者、ラジオ番組担当、YOSAKOIソーラン公式応援ソング「ソーランBeat」の歌い手

寺島　絵里佳
江差追分全国大会優勝者、乙部町町民栄誉賞受賞、札幌道新ホールにて寺島三姉妹「民謡三重奏」コンサート開催

阿部ヒロカズ　トラッド・ジャズ・トリオ

トラッド・ジャズ・トリオ

北海道のトラディショナルジャズ第一人者である阿部ヒロカズをリーダーとするジャズグループ。トランペット＆ヴォーカル（阿部ヒロカズ）、ギター＆バンジョー（滝川裕三）、ベース（豊田健）の3名によるドラムレス編成。「ルイ・アームストロング」に代表されるニューオーリンズやディキシーランドを中心としたジャズ音楽を提供します。

公演内容

ドラムレスでありながらもそれを感じないビートと小粋に歌いあげるトランペットやヴォーカルが聴く者をワクワクさせ、ジャズの命であるスウィング、ブルース感を体感できます。ディキシージャズというと賑やかなイメージが強いが、時には優しく、時には哀しく、ジャズ本来の味わいをシンプルに、ストレートに存分に楽しませてくれます。「ジャズは人に寄り添う音楽」という思いを大事に、定評がある ＭＣとともに、ショウマンシップにあふれたエンターテインメントなステージは「子供向け」でも「大人向け」でもなく、未就学児童からお年寄りまで喜んでいただくことができます。

演奏曲目

Bourbon Street Parade、My Blue Heaven、Tennessee Waltz、
Exactry Like You、Just a Closer Walk、When the Saints Go Marcun' In等

ランス室内楽団

ランス室内楽団

札幌市内で活躍するフリーランスの演奏家１０名による音楽グループ。メンバーはフルート、オーボエ 、クラリネット 、ファゴット、ピアノ、パーカッションで構成されており、これらの楽器の組み合わせを自由に変えることで小編成から大編成までのアンサンブル、そして本格的なクラシックからポピュラーな音楽まで場面に応じて様々なスタイルの演奏を行うことが出来る室内楽団です。

ランス室内楽団メンバー

フルート：按田佳央理　　オーボエ：中村和乃子
クラリネット：狩原枝里子、福井遥香、中川知美
ファゴット：石黒玲　　ピアノ：伊藤千尋、三上絵里香
パーカッション：佐藤奏子、向愛佳

公演内容

各楽器の特徴がよく分かる「Mozart de 楽器紹介」に始まり、音楽にまつわるクイズやリズム体験コーナー、ヴォイスパーカッション体験コーナーの他、広く知られているクラシックの名曲や映画音楽などを楽しく分かりやすくお聴きいただけます。「楽しい」と「なるほど」がたくさん詰まったコンサートです。それぞれの楽器の響きをお聴きいただきつつ、まるでオーケストラのような迫力もお楽しみいただけます。

こどもアート体験事業

国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子どもたちと一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業です。

対象団体

- 地域文化団体
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（小学校、中学校）等

※　地域文化団体は、道民の文化芸術活動の促進に努めている団体等であり、原則として、次の要件を満たしている団体が対象となります。

〔地域において過去３年以上継続的な活動を行っている団体
団体の規約等を有し組織体制の確立している団体
地域の文化芸術活動をリードしていくことが期待される団体〕

※　実行委員会等、新たに設立した団体の場合は、母体となる構成団体が上記の要件全てを満たしている必要があります。

経費の負担

- 財団の負担：アーティストへの謝金、旅費及びワークショップに係る費用
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費等

その他

- ワークショップへの参加者の負担（参加料、受講料等）は、無料とします。

派遣アーティスト

▌柴 幸男（劇作家・演出家・ままごと主宰）

写真：源賀津己

1982年愛知県出身。青年団演出部所属。東京の劇場から北九州の船上まで、新劇から学芸会まで、場所や形態を問わない演劇活動を行う。大学在学中に第２回仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2010年に第54回岸田國士戯曲賞を受賞。2013年の瀬戸内国際芸術祭より小豆島での継続的な滞在制作を開始。島民や観光客を巻き込み、"その時、その場所で、その人たちとしかできない演劇"を上演している。多摩美術大学講師、四国学院大学非常勤講師。

実施内容

子どもたちと一緒にシアターゲームなどのコミュニケーションを重ねて、身体を使った表現や台本づくりなどを経ながら、演劇を創作・発表するワークショップです。また創作・発表のみではなく、作品を鑑賞するという経験も重要視します。鑑賞と創作・発表を繰り返す中で、自分のアイデアを他者に提案すること、他者の意見を自分に取り入れること、個人ではなく集団で何かをつくることを体験します。

実施条件

- 時期：令和２年10月又は令和３年１月頃
- 期間：延べ７日間程度
- 対象：小学生又は中学生
- 人数：10～30名程度

▌神田 山陽（講談師）

1965年北海道出身。1990年、二代目神田山陽に入門。2002年真打昇進、三代目を襲名。同年、文化庁芸術祭演芸部門新人賞受賞。2005年文化交流史としてイタリアで活動し、2006年に帰国。同年「NHKようこそ先輩」で廃校になる母校で小学生講談ワークショップを行う。2007年から6年間、大空町東藻琴小学校の特別聴講生として二度目の小学生生活。2015年筑波大付属小学校で一年間言葉のワークショップを実施。NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」等レギュラー出演中。擬人化新作講談を得意とする。

実施内容

『喋らないモノの言葉を借りて物語をつくろう』

声なきモノの気持ちになってお話を創るワークショップです。例えば、花瓶と湯飲みの対話、ろうそくと懐中電灯の対話ー。子どもたちがそれぞれ自分を投影しやすいモノを探して「静物」を擬人化し、物語を創ります。最終日には「静物劇」として発表会を行います。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ3～7日間程度
- 対象：小学生
- 人数：10～40名程度

▌斉藤 幹男（美術家）

1978年札幌市生まれ。2000年、早稲田大学第二文学部表現芸術学科卒業。2002年、シュテーデル美術大学（フランクフルト、ドイツ）に進学、2007年卒業。マイスターシューレ（博士号）取得。 手描きの絵によるアニメーション、写真、CGなど様々な種類のイメージを組み合わせ、アナログ・デジタル双方の魅力を引き出す映像作品を主に制作し、国内外のギャラリーや美術館等で作品を発表している。2009年より札幌を拠点とし、市民参加型のワークショップ形式の作品制作や音楽家とのコラボレーションも積極的に行っている。

近年参加した主な展覧会に「Tooth Fairy Museum」（A4美術館、成都、中国、2019年）、「よるしるべ」（香川県観音寺市、2018年、2019年）、「札幌国際芸術祭2017」、「Keelung Ciao」（基隆、台湾、2017年）、「パラピリオの森」（京都府舞鶴市、2016年）など。

実施内容

『みんなで考えたお話を映像にしてみよう！』

地域の大人たちや学校の先生から聞いた地元にまつわる昔話や歴史などを参考にして、子供たちが中心になって映像にしたいストーリーを考えます。絵を描くのが得意な子は紙芝居やアニメを、演じるのが得意な子はお芝居を、小道具や衣装を作る子や、音楽、声優をする子など作業を分担して一つの映像作品を作ります。地域の歴史や風土が、今の子供たちと繋がっていることを感じさせる活動にしたいと思います。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ7～10日間程度
- 対象：小学生又は中学生
- 人数：10～30名程度

MEMO

公益財団法人 北海道文化財団

〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 3 階
TEL 011-272-0501　FAX 011-272-0400